



面積：1F/121.38㎡ (36.71坪)

2F/53.24㎡ (16.11坪)

延床/174.62㎡ (52.82坪)

工法：木造軸組在来工法
(オール電化+太陽光発電システム仕様)

① リビング上の2階部分は、間仕切りのない12畳大のファミリースペース。帰郷した息子さんや友人らの寝室など自由に使える。

② キッチンが広いガラス窓で明るく、外の景色を見ながら調理。リビング側の広いカウンターは屋久島のツガの大木を使っている。

③ 階段の板や手すりは、築85年で建て替えとなった小学校の木造校舎を再利用したもの。丸みや窪みがあり、長年の歴史を足裏に感じられる。

④ ダークブラウンの杉壁と白の塗り壁がやさしい色調。陶器瓦と古民家風の雲間気が涼しい。夏は涼しく冬は暖かい屋根断熱仕様。



人が集まる 自然たっぴりの家に

夫婦そろって人や自然が大好き。開放的で人がいっぱい集まるような家に憧れていました。自然そのままの木を使った家を建てたかったので、大成寺工務店さんにもいろいろと知恵をいただき感謝しています。おかげで家を新築してから、よく人が集まるようになりました。

施工エリア

鹿児島、南薩



株式会社 大成寺工務店
〒897-0215 南九州市川辺町山3118
TEL：0993-56-1198
FAX：0993-56-5216
http://www.i5.dion.ne.jp/~taiseiji
taiseiji@i5.dion.ne.jp

事業内容

総合建設業、一級建築士事務所、
宅地建物取引業



資料請求

巻末の専用用紙にて資料請求していただくか、左のQRコードから、資料請求フォームにアクセスできます。



杉と漆喰をたっぷり使い
自然に包まれる居心地を堪能

南九州市川辺町の中心地に近く、周囲には田んぼが広がり、遠くに緑の山々が見渡せるのどかな場所にT邸があります。ダークブラウンに塗られた杉板と白い塗り壁の外観が、どこか懐かしく落ち着いた雰囲気。玄関を開けると、自然の形を生かした屋久島のツガの大きな式台が目に入ります。素足にやさしい感触がとても心地よく、同じツガ材はリビングのテーブルやキッチンのカウンターにも使われています。

玄関からリビング、キッチン、2階の子どもの部屋まで、和室を除く床はすべて自然のままの杉板のフローリング。吹き抜けのリビングのむき出しの柱や梁、天井などもふんだんに杉材が使われています。漆喰の壁はご主人を始め、友人や知人などと一緒に模様を入れながら塗ったものなのだそうです。流線型のものやコテムラを生かしたり、その模様には家族の思い出がいろいろ。

来訪者や修学旅行生にも
「室内の空気がいい」と好評

T邸の特徴は外壁から床や壁、ドア、建具など既製品がないこと。すべて自然の木や漆喰を使っていることで、クロスは一切使っていないことに気が付きます。普通の家の2倍以上の木材を使っているそうで、家全体に自然素材のやわらかさ、温もりが感じられるのもうなずけます。これに開放的な間取りが家全体の風の流れをスムーズにしているようです。

「杉の木は、人が歩いていくうちにだんだん味のある色に変わっていくのがいいですね。足の裏に木の感触が伝わり気持ちいいので、いつも素足で歩いています」と奥様。

訪れた人たちは吹き抜けの広々としたリビングに「空気がいい」とお気に入りで、休日の前後などは大勢の人が集まる機会も増えたのだとか。関西や関東などの修学旅行生を受け入れると、キャンプ気分が楽しめるかと喜ばれているそうです。

大成寺工務店
Taiseiji kumuten

南九州市 T邸

吹き抜けの天井と 自然素材のパワーに 「居心地がいい」と 大勢の人が集う家



高さ7mほどある吹き抜けの木造間リビング。柱や梁、床は自然のままの杉材。開放的な空気が漂う。